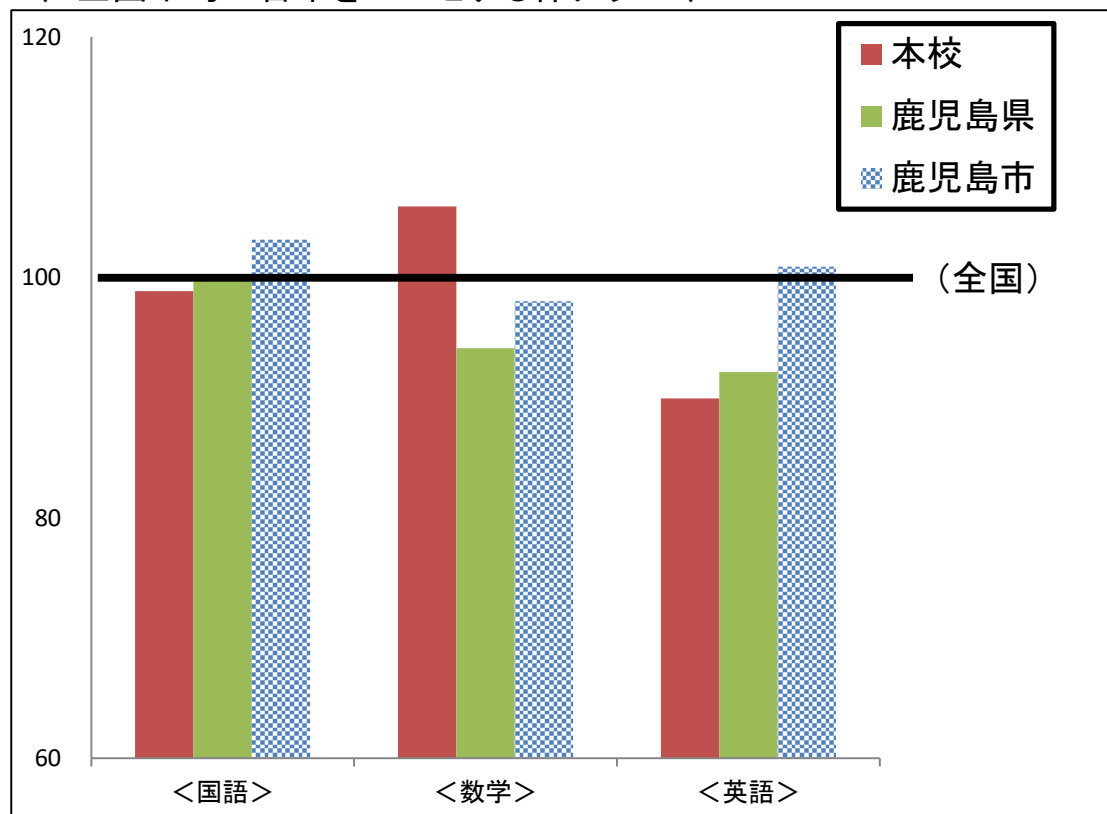


# 令和5年度全国学力・学習状況調査結果について 天保山中学校

## 1 自校・県・市・全国の平均正答率の比較 〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



## 2 自校の課題に対する改善策

### ＜国語＞

全体的には、県を1%、全国を1%ほど下回っていた。また、読むことや書くことについて課題が残る結果となった。授業において、様々な種類の文章に触れ、語句を理解しながら、要旨を捉えたり、構成を考えて的確に書いたりする活動を充実させていきたい。

### ＜数学＞

正答率としては、領域別の図形だけが、全国平均を少し下回っていたが、他の領域や観点別、問題形式別においては、全て県や全国の平均を上回っていた。全体的には、県を6%、全国を3%ほど上回っていた。記述式などがやや苦手という印象もあったが、平均としては、そういう傾向もなかった。ただ、SP表などを見ると個人には多くの問題点があり、そのあたりを今後、授業や課題で改善していきたい。

### ＜英語＞

全国を上回っている問題もあったが、全体的には、県を1%、全国を5%ほど下回っていた。2学期以降は、授業あたまの帯活動で基本文をディクテーションさせるなどして聞く力、書く力を向上させていきたい。

### ＜全体的に＞

学校では、基礎的・基本的な学力定着に向け、navima等を積極的に活用するとともに、思考力や判断力等の向上を図るために授業や指導方法の工夫・改善に努めたい。

生徒質問紙では、教科の必要性を感じながらも結果が伴わない現状が見られた。1年時から進路を見据えた指導を行っていきたい。